

札幌市男女共同参画センター運営協議会（平成30年度第2回） 議事要旨

日時：平成31年3月8日（金）

10:00～12:00

会場：札幌エルプラザ公共施設

会議室3・4（2階）

1. 札幌エルプラザ公共4施設の平成30年度管理運営に関すること

【事務局からの報告】

・男女共同参画センター有料貸室および活動支援施設ともに、利用率が若干下がっている。
要因として、地震によるキャンセルの影響があると考えられる。

・施設外事業の件数が、4件から11件へ増加している。

・利用者からのご意見としては、香害に関するものが15件中3分の1程度あった。

【委員からの主な質問・ご意見】

・災害時の男女共同参画センターの役割について

→基幹避難所の指定はされていない。9月の地震の際は安全確保の上、観光客を受け入れる準備を進めたが、札幌市の判断により、結果的に受け入れは行わなかった。一方で、指定管理者の判断により、エルプラザの付近にいた観光客、地域の方にはホールを一部解放した。また、事業としては、9月10日からの5日間LINEを活用した相談窓口を開設した。

2. 札幌市男女共同参画センターにおける事業に関すること

【委員からの主な質問・ご意見】

・20代の若い市民にどのように情報発信を行っているか

→ジェンダーに関心のある方々にセンターに来ていただくだけでなく、学校や職場などの人が集まっている場への出張講座を増やしていきたい。

・事業の質的評価について。特に、社会教育の質的評価を参考に、事業評価だけでなく、学習機会を提供する場としての施設の評価という視点を入れると先進的ではないか。

・ホームページは重要である。職員みんなで分担して見応えのあるページを目指すべき。

3. 意見交換

【委員からの主な質問・ご意見】

・SDGsに関するイベントの集客がよいが、カタチだけではなく、行動変容につながる必要がある。

・ジェンダー不平等により不利益を被っている層と、社会の土壌自体をどのようにつくりかえるかという部分で、男女共同参画センターの存在意義を感じている。